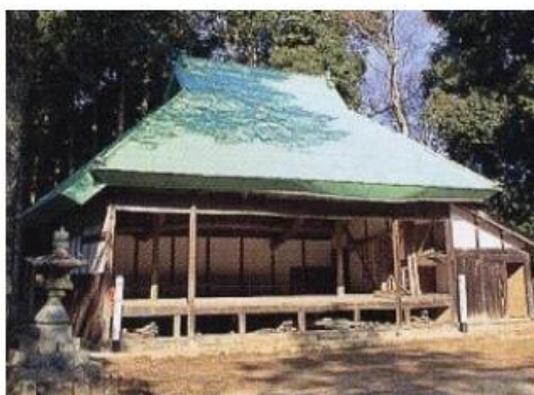


久米郡に残った唯一の歌舞伎舞台
八幡神社の歌舞伎舞台



指定区分	県指定重要有形民俗文化財
読みかた	やはたじんじゃのかぶきぶたい
所在地	美咲町大坩和西
指定年月日	昭和51年3月27日
解説	八幡神社の境内地にあり、神楽殿と称される農村歌舞伎の舞台である。建物の前面はいっぱいに取り放し、右側上手に太夫座と囃子座、その奥に道具部屋、裏手に化粧部屋があり、明治初期の建築と考えられる。久米郡内に唯一残った舞台で、歌舞伎芝居が盛んに催されたことを物語っている。
アクセス方法	JR亀甲駅から車で約20分
公開状況	自由
設備	駐車場  トイレ 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要有形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	八幡神社の歌舞伎舞台
よみかた	やはたじんじゃのかぶきぶたい
しょざいち (所在地)	美咲町大埴和西
していたひ (指定した日)	昭和51年3月27日
せつめい	江戸時代(えどじだい)おわりごろから、農村(のうそん)では、地元(じもと)の人たちによる歌舞伎(かぶき)がさかんになり、舞台(ぶたい)が神社(じんじゃ)の境内(けいだい)につぎつぎと建(た)てられました。しかし人々の生活(せいかつ)も変(か)わり、舞台も取(と)りのぞかれていきました。この舞台は久米郡(くめぐん)内に残(のこ)る唯一(ゆいっ)の舞台として保存(ほぞん)されています。